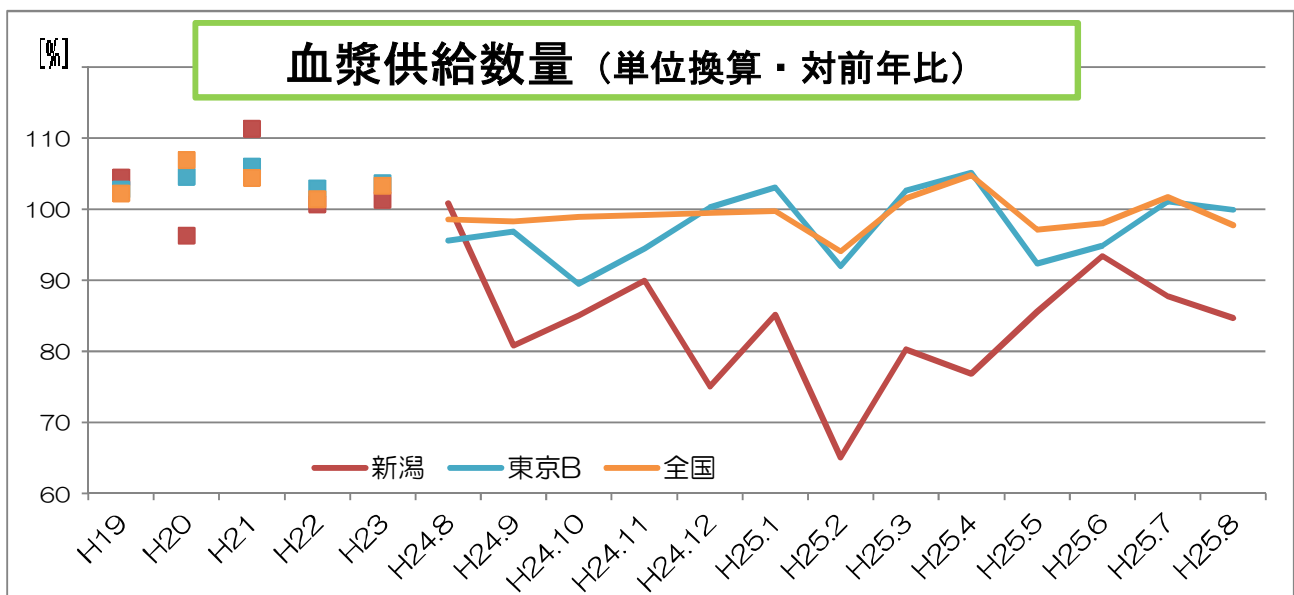
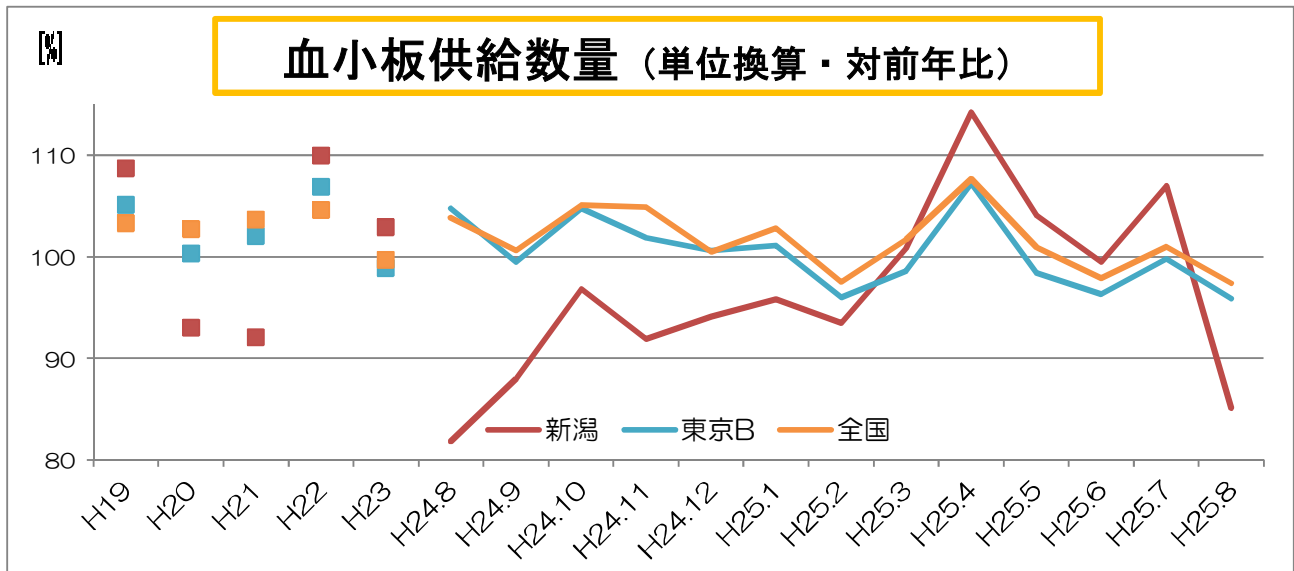
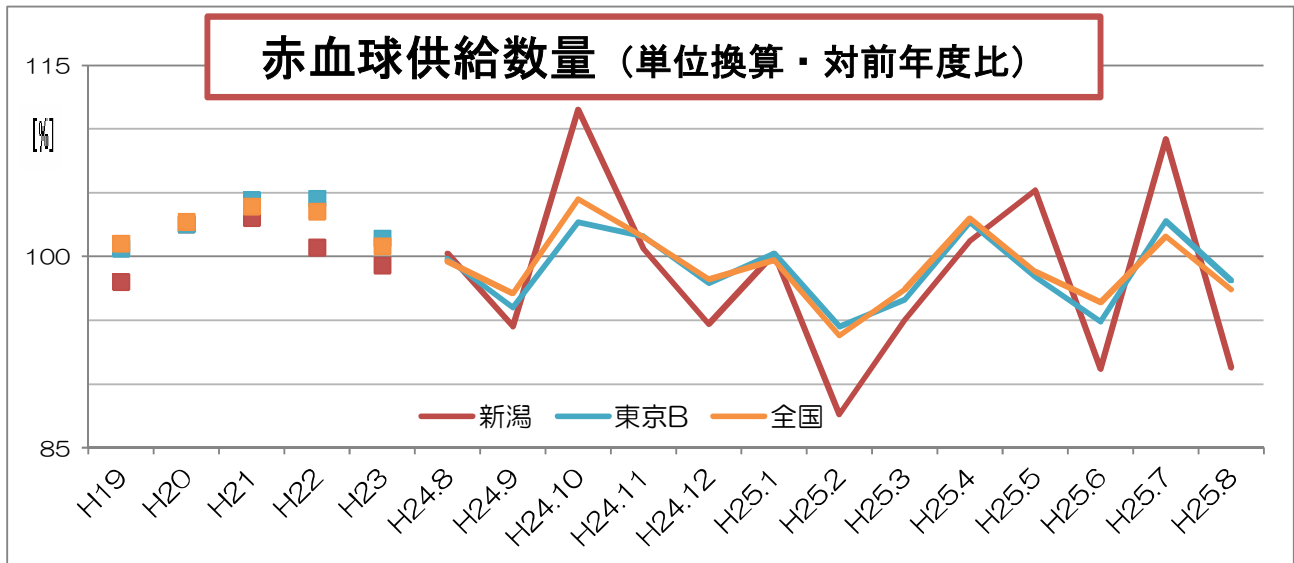
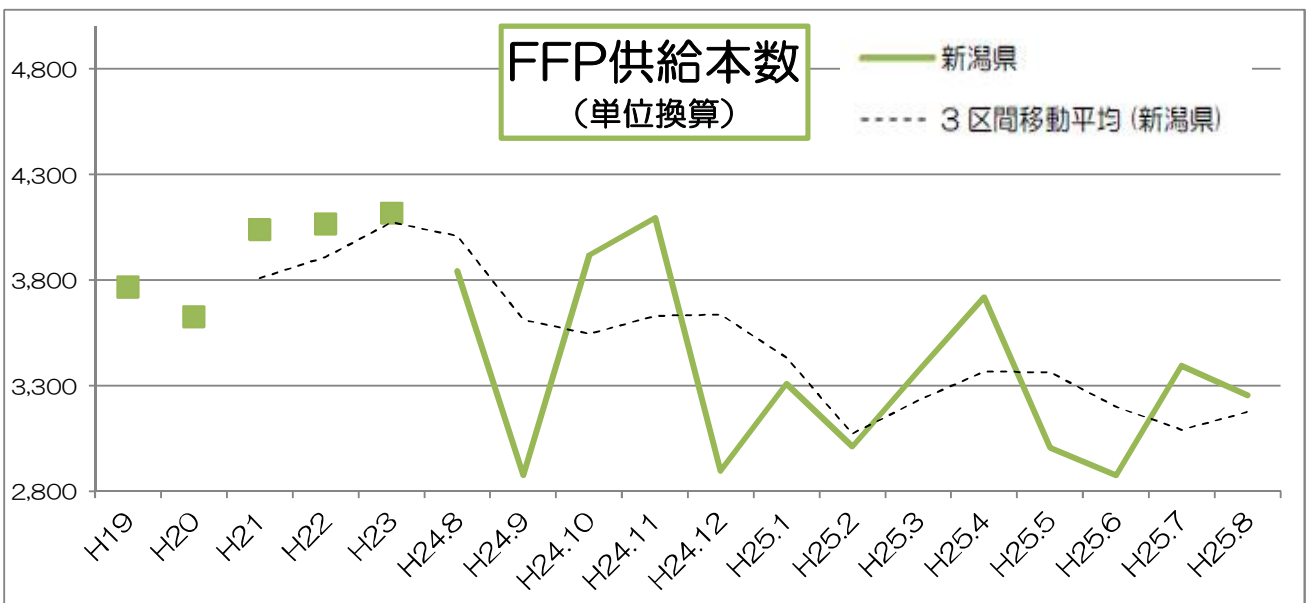
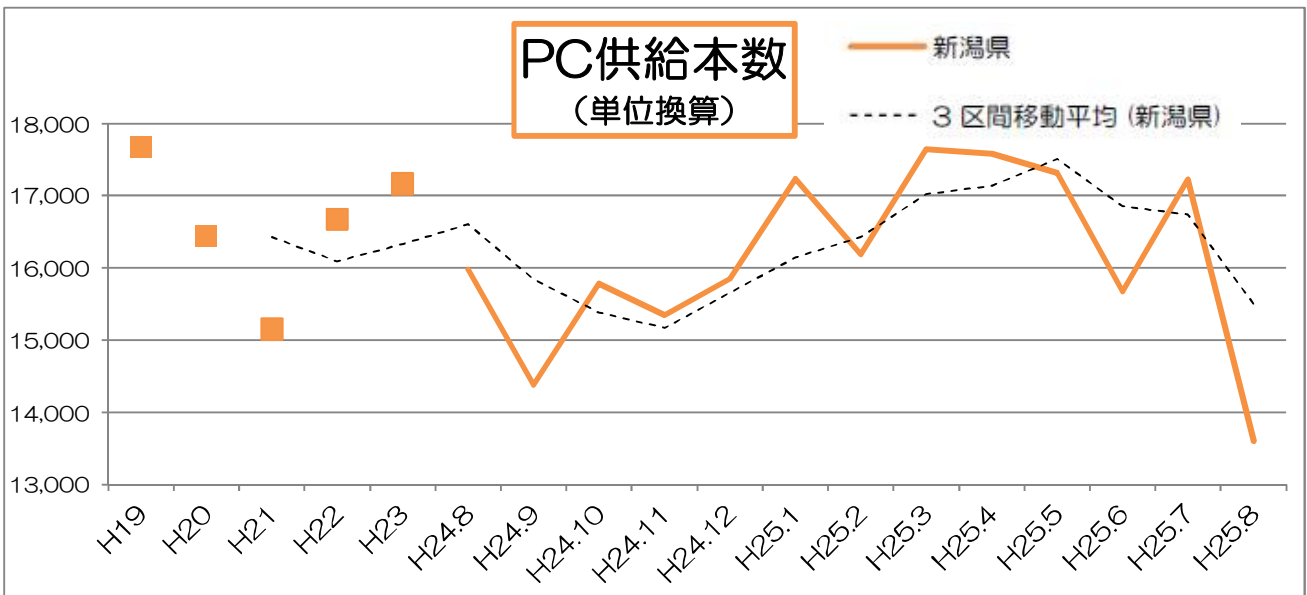
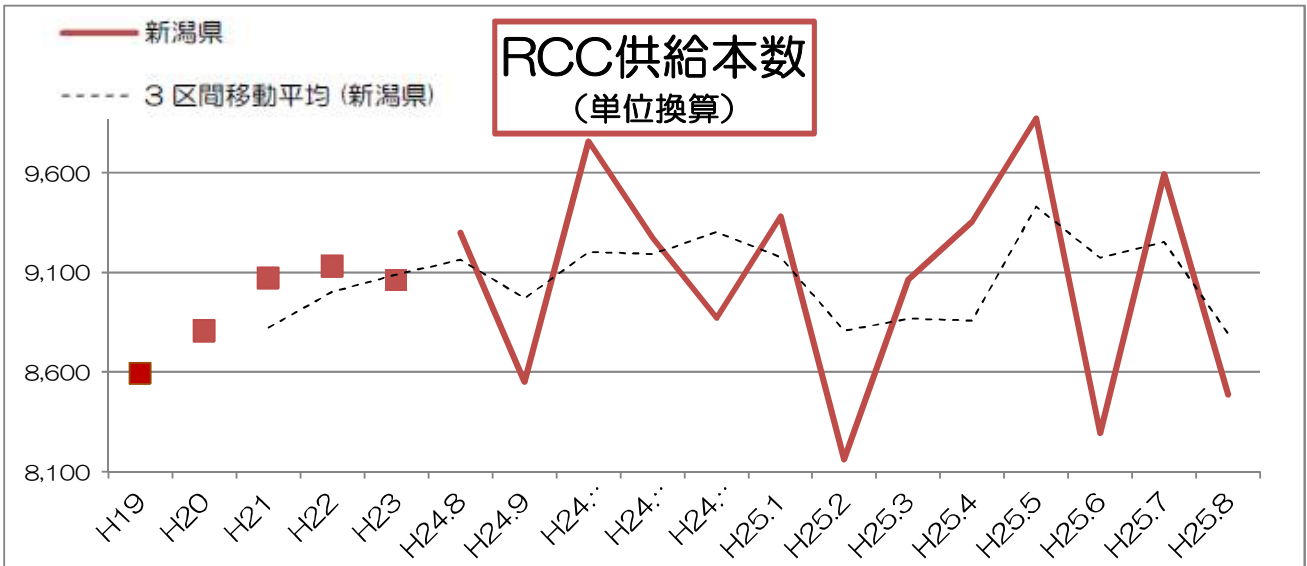


\* 日本赤十字社ホームページ「数値で見る血液事業」より引用。

\* 管内供給本数を単位換算、対前年同月比で示した。過去 5 年(月平均供給本数)のデータを追加した。





## H25 年 血液製剤使用状況集計結果

対象： 新潟県内の輸血を行う主要な医療機関 82 施設

入力いただいたデータは下記の表の通り一般病床数により 6 つの規模別に分類して集計

◆8 月の特徴：先月に比べ 3 製剤とも使用量が減少した。中でも血小板製剤は 3,615 単位（21%）減少した。規模別では A 施設、診療科別では内科での減少が影響している。血漿製剤は、規模 A 施設は 30L 増加し最多、B 施設は 53L 減少し最少、血漿交換の影響が考えられる。また、赤血球製剤の廃棄率が上昇傾向にある（現在 3.5%）。

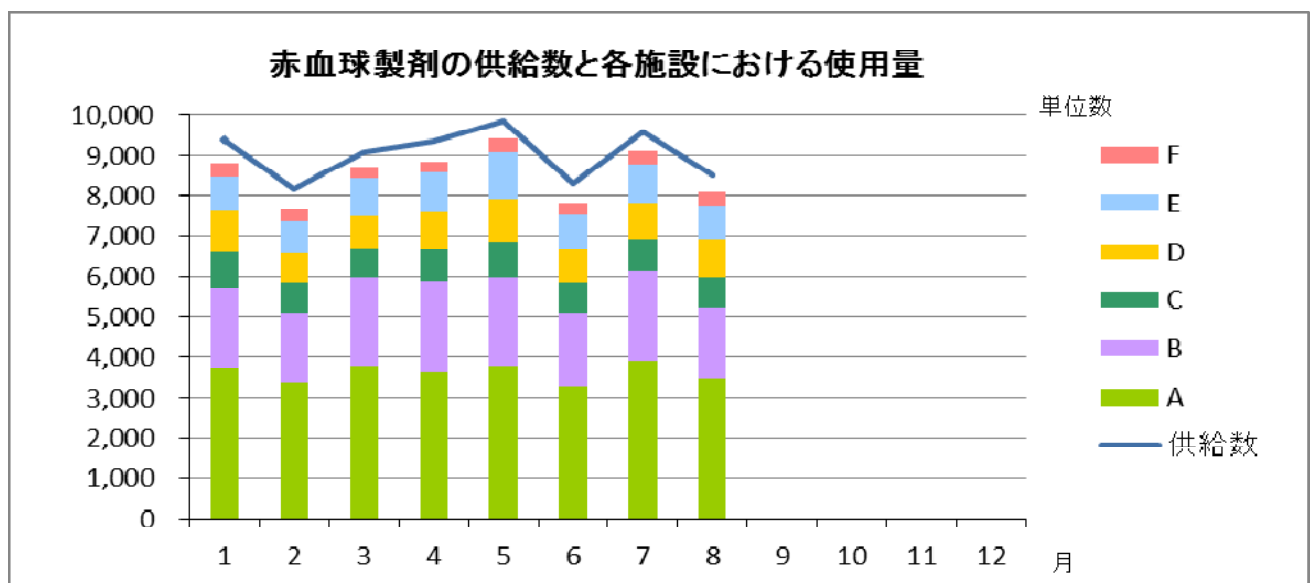
施設規模(一般病床数による)	施設数	病床数	
A	500床以上	6	3,562
B	400～499床	5	2,135
C	300～399床	7	2,273
D	200～299床	10	2,513
E	100～199床	22	3,475
F	0～99床	32	1,626
計		82	15,584

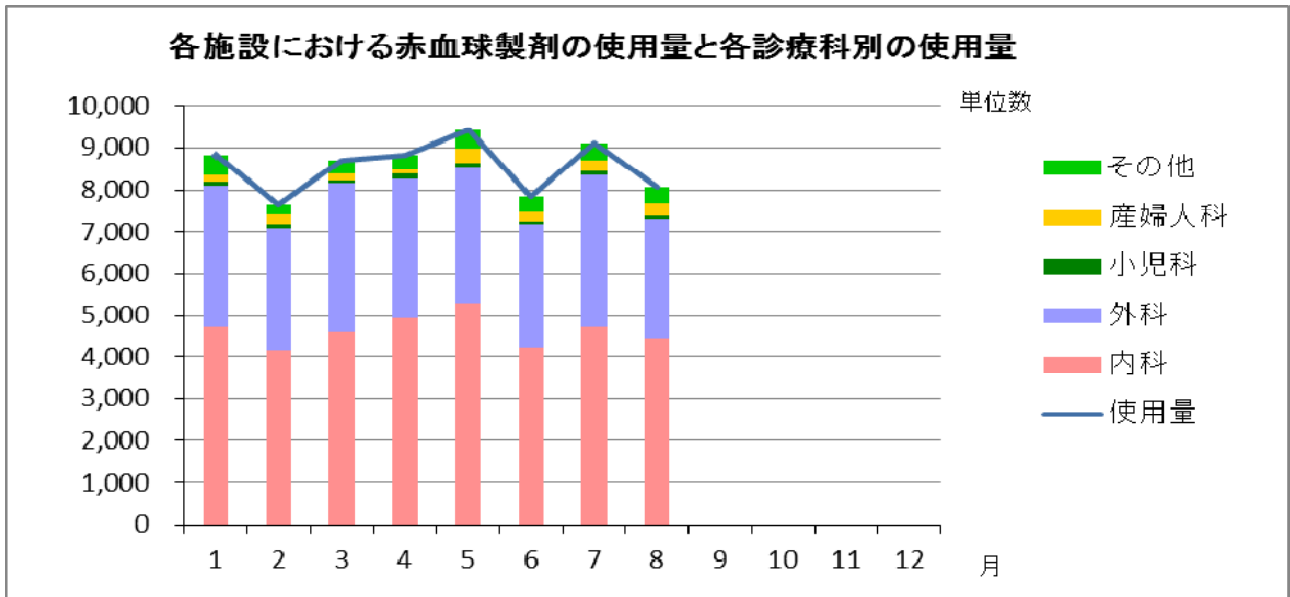
### ○赤血球製剤

赤血球製剤の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	3,455	1,817	1,055	67	250	266	3,455	100.0
B	1,761	1,007	702	2	40	10	1,761	100.0
C	769	442	313	0	4	10	769	100.0
D	935	468	385	0	4	78	935	100.0
E	825	452	337	0	16	20	825	100.0
F	330	251	79	0	0	0	330	100.0



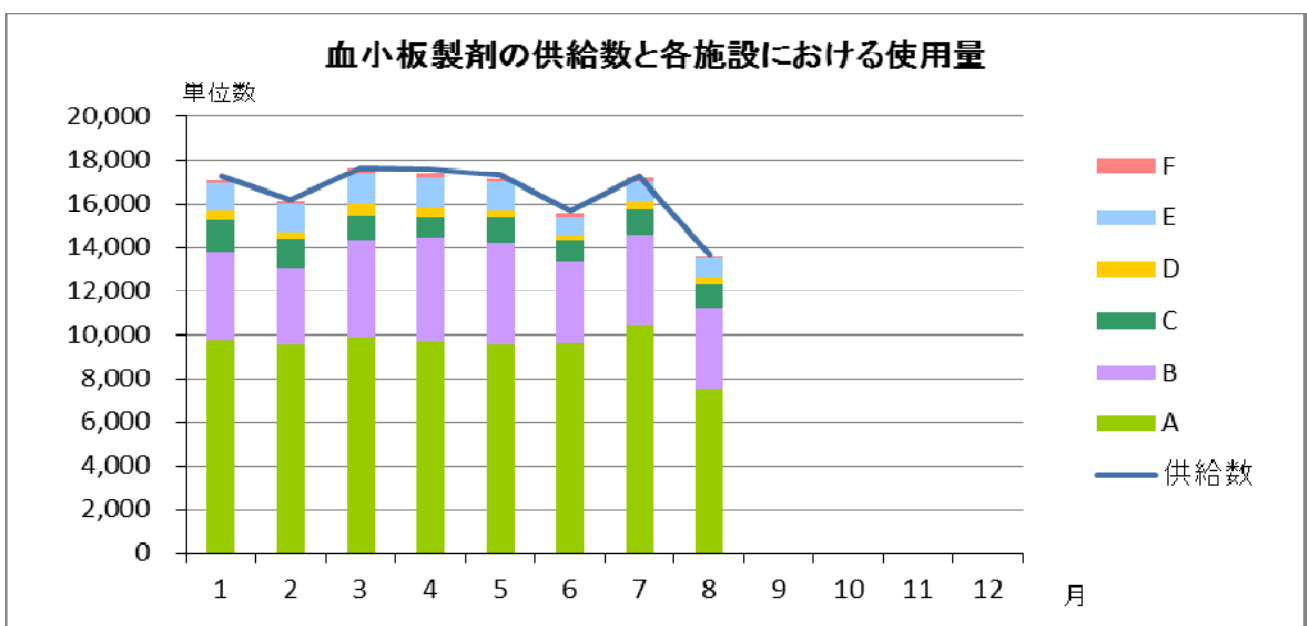


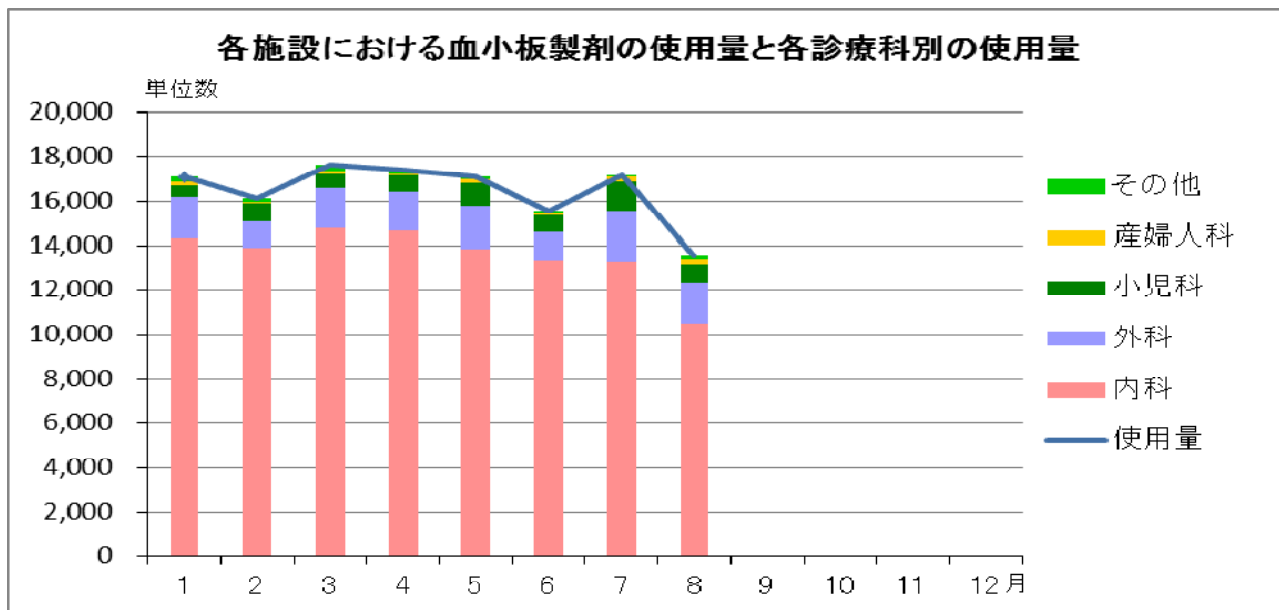
## ○血小板製剤

血小板製剤の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	7,525	5,510	810	805	210	190	7,525	100.0
B	3,645	3,050	565	10	0	20	3,645	100.0
C	1,180	995	185	0	0	0	1,180	100.0
D	310	120	190	0	0	0	310	100.0
E	855	740	95	20	0	0	855	100.0
F	65	55	10	0	0	0	65	100.0



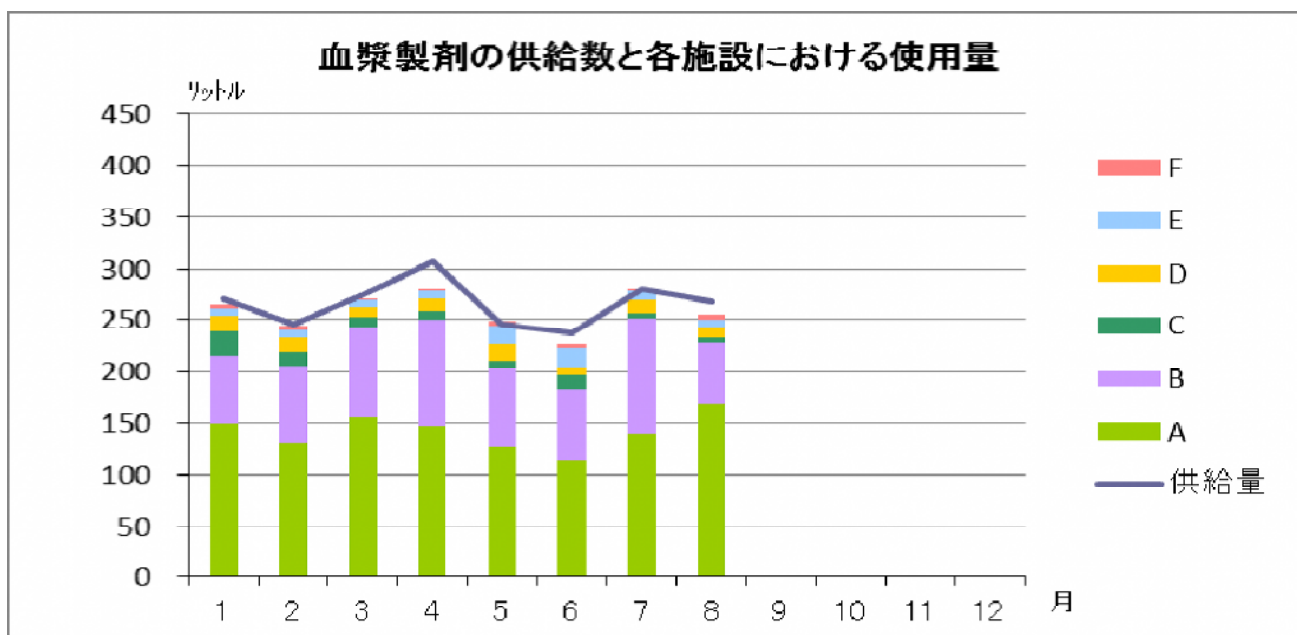


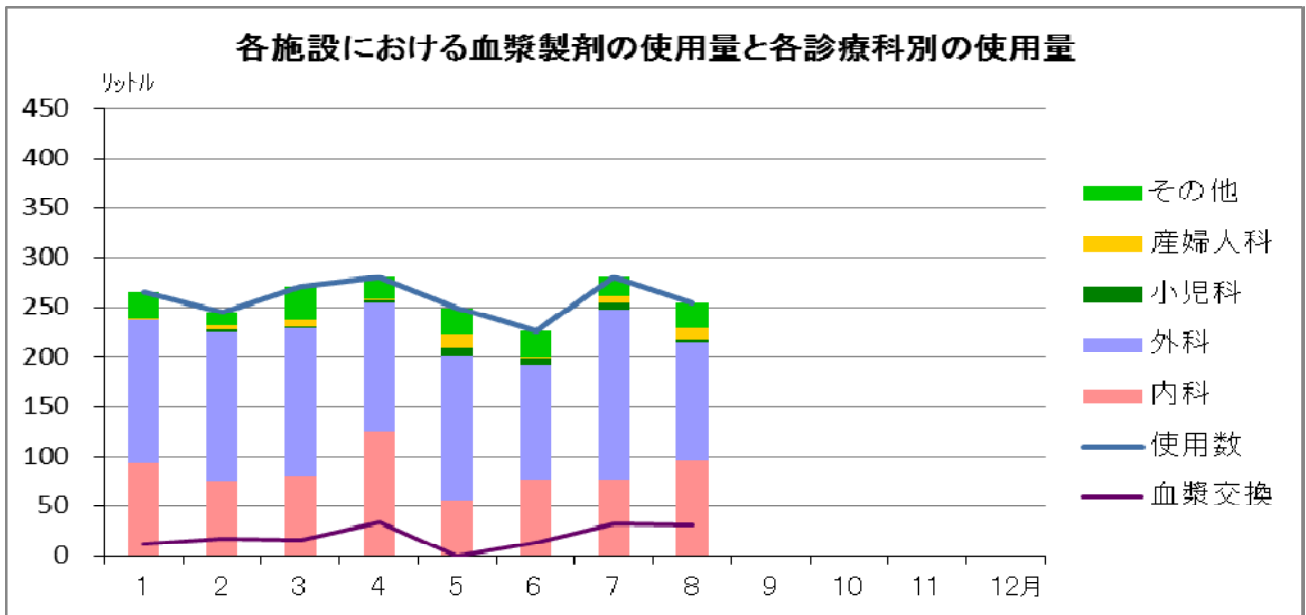
## ○血漿製剤

血漿製剤の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (リットル)	診療科別						計	全体の使用量 に対する割合 (%)
		血漿交換	内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	169.0	30.6	69.9	64.4	3.2	7.9	23.5	169.0	100.0
B	59.0	0.0	17.5	39.6	0.0	1.9	0.0	59.0	100.0
C	5.8	0.0	0.5	4.8	0.0	0.5	0.0	5.8	100.0
D	9.4	0.0	1.0	5.3	0.0	0.0	3.1	9.4	100.0
E	7.5	0.0	2.6	4.9	0.0	0.0	0.0	7.5	100.0
F	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	100.0



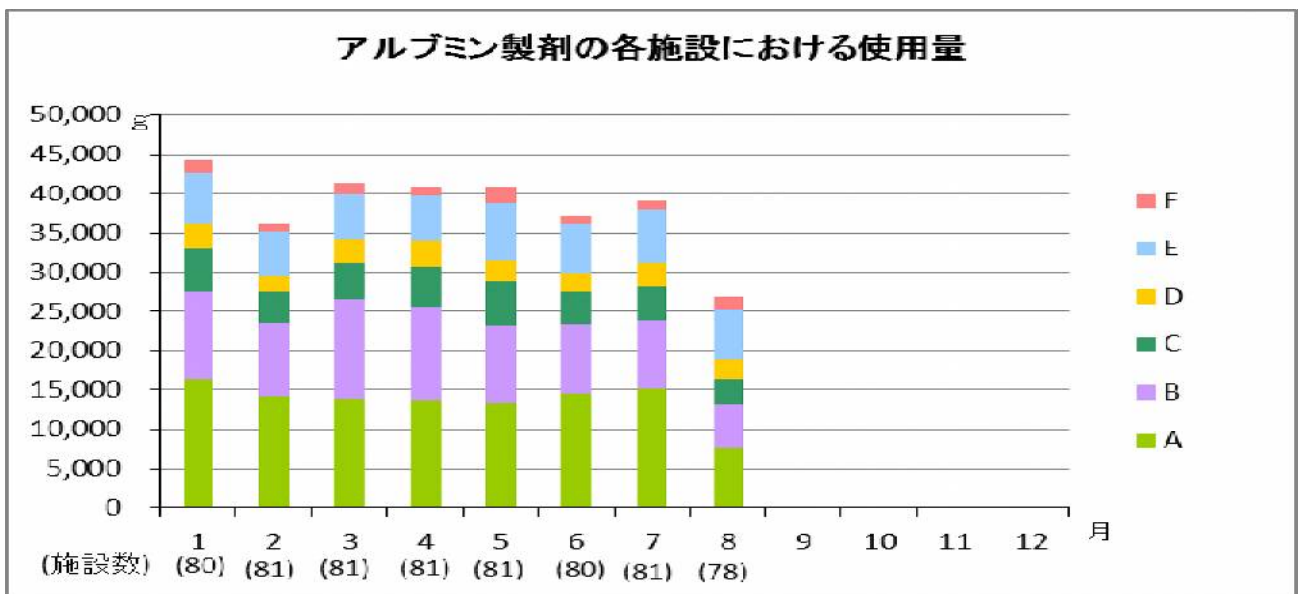


## ○アルブミン製剤

アルブミン製剤の使用量と各診療科別による使用量

- \* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示
- \* 輸血用血液製剤と異なり、全ての医療機関から回答を頂けていないため、入力されたデータのみを表示
- \* ( ) 内はアルブミン製剤の使用量の入力がされた施設数を表したのもの

規模別	全体の使用量 (グラム数)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A (5/6)	7,654.0	2,175.0	3,854.0	0.0	150.0	325.0	6,504.0	85.0
B (4/5)	5,550.0	2,850.0	2,700.0	0.0	0.0	0.0	5,550.0	100.0
C (7/7)	3,121.0	1,675.0	1,446.0	0.0	0.0	0.0	3,121.0	100.0
D (10/10)	2,657.2	1,282.2	962.5	0.0	0.0	0.0	2,244.7	84.5
E (22/22)	6,313.0	2,012.5	1,912.5	0.0	0.0	150.0	4,075.0	64.5
F (30/32)	1,528.5	1,517.5	11.0	0.0	0.0	0.0	1,528.5	100.0

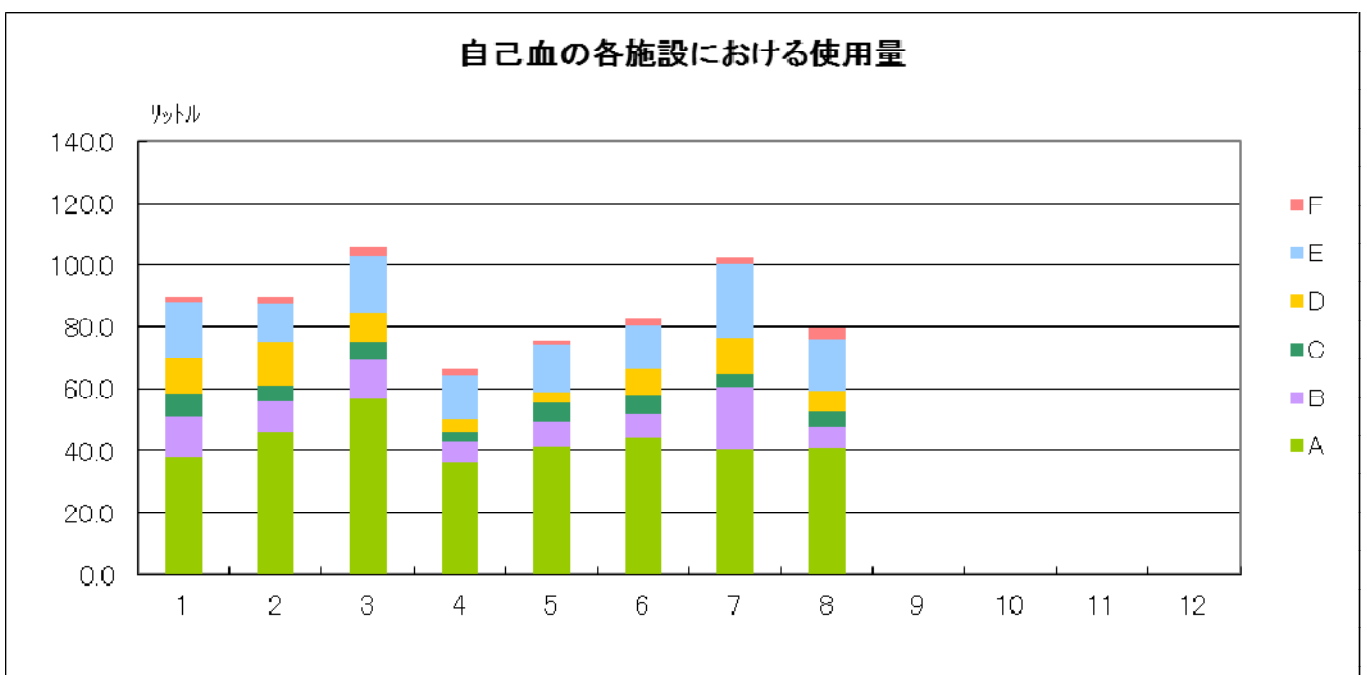


## ○自己血

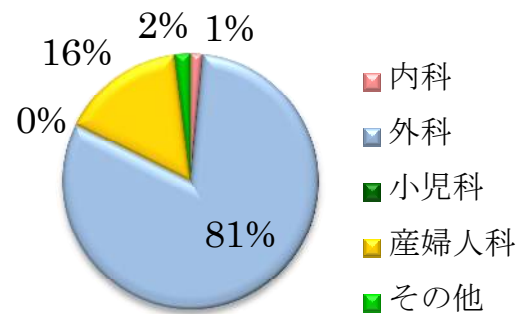
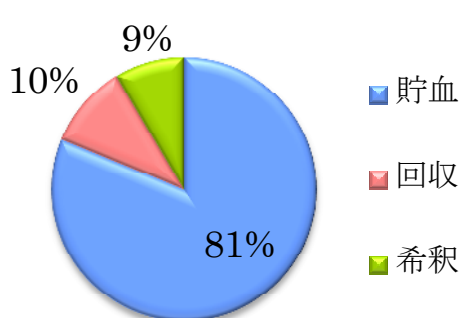
自己血の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	自己血使用量(リットル)				診療科別						全体の使用量に対する割合(%)
	貯血	回収	希釈	計	内科	外科	小児科	産婦人科	その他	計	
A	28.9	5.3	6.8	41.0	1.2	29.7	0.0	10.1	0.0	41.0	100.0
B	5.5	1.1	0.0	6.5	0.0	4.7	0.0	1.9	0.0	6.5	100.0
C	5.1	0.0	0.0	5.1	0.0	4.7	0.0	0.4	0.0	5.1	100.0
D	4.8	1.9	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	100.0
E	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	15.1	0.0	0.0	0.8	15.9	95.2
F	4.0	0.0	0.0	4.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.8	4.0	100.0
計	64.9	8.2	6.8	80.0	1.2	64.0	0.0	12.4	1.6	79.2	99.0



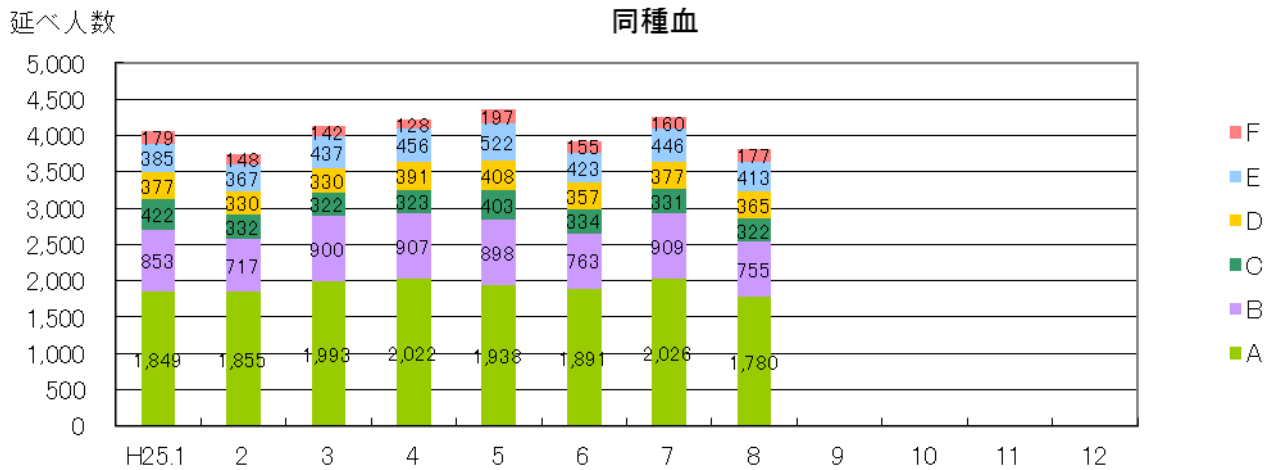
【自己血輸血の種類と診療科別の割合】



○輸血実施患者数（延べ人数）

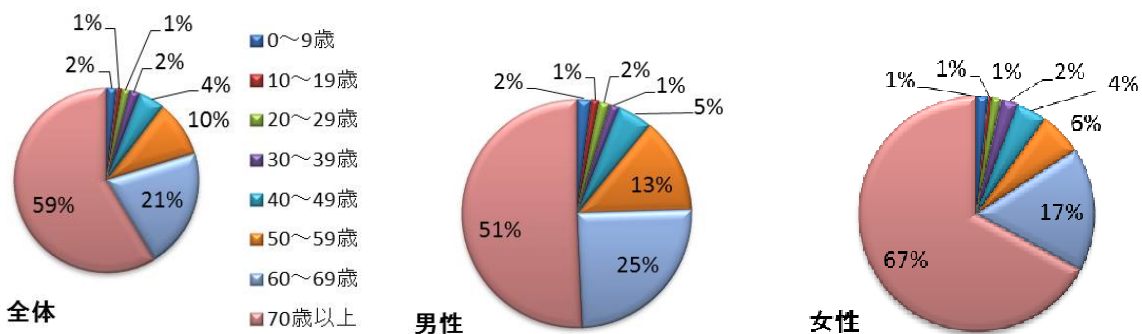
8月	A	B	C	D	E	F	Total
同種血	1,780	755	322	365	413	177	3,812
1床あたり	0.50	0.35	0.14	0.15	0.12	0.11	0.24
自己血	78	13	11	21	25	5	153
アルブミン	427	278	170	147	239	59	1,320

※ アルブミンについては全施設がデータ提出しているわけではないので参考データ扱い。



【男女別年代別の同種血延べ人数】（データ提出施設分のみ）

8月	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	Total
男	26	14	20	18	64	175	320	655	1,292
女	19	6	16	28	51	72	207	814	1,213
計	45	20	36	46	115	247	527	1,469	2,505

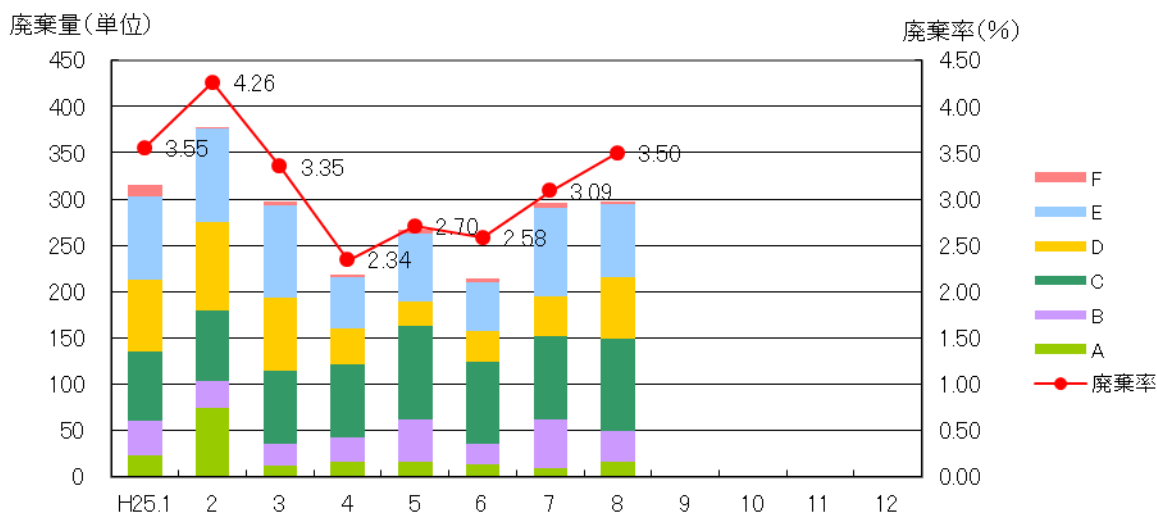




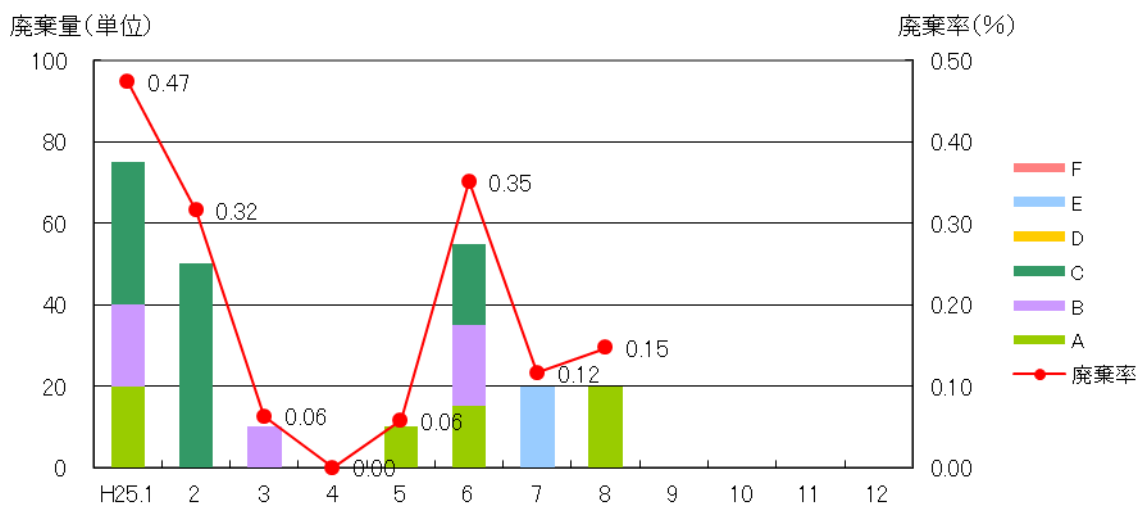
○血液製剤及び自己血の廃棄率

8月	A	B	C	D	E	F	Total
赤血球製剤(単位)	16	34	99	66	79	3	297
血小板製剤(単位)	20	0	0	0	0	0	20
血漿製剤(リットル)	1.7	0.7	0.5	0.7	0.7	0.0	4.3
自己血(リットル)	3.3	1.2	0.8	0.0	0.0	0.6	5.9

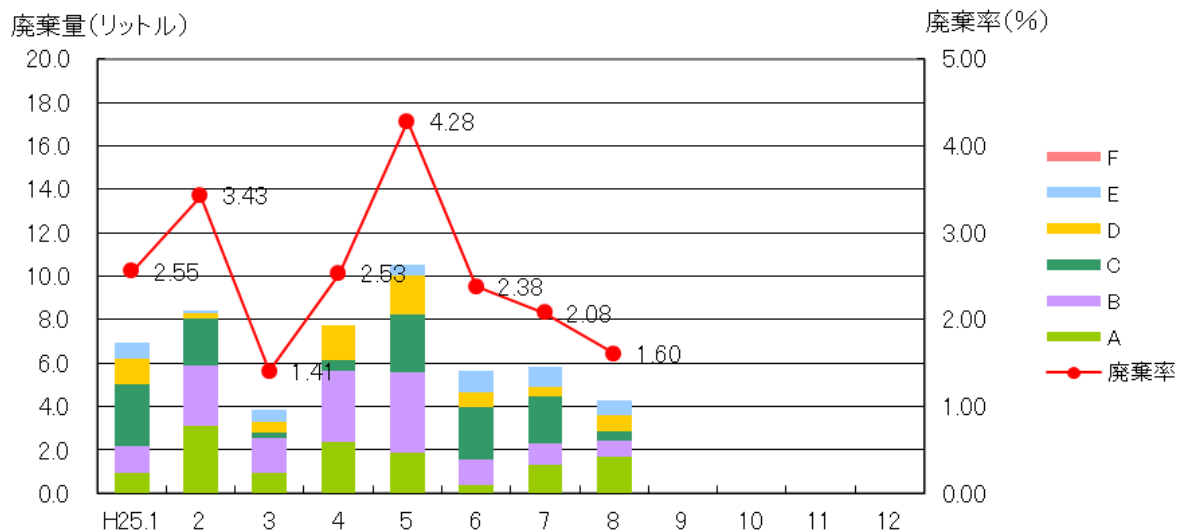
赤血球製剤の廃棄量と廃棄率



血小板製剤の廃棄量と廃棄率



### 血漿製剤の廃棄量と廃棄率



### 自己血の廃棄量

